

「夢を持ち続ける そしてあきらめない」 ～パラアーチェリーとの出会い～

講師 パリパラアーチェリー日本代表
大江 佑弥 さん

8月にパリで開催されるパリパラリンピック直前のこの機にパラアーチェリー日本代表選手の大江佑弥さんを講師としてお招きし、PTA人権教育講演会を開催いたしました。

障がいに負けることなく、自分の人生を自分らしく精一杯に生きる大江さんのお話に勇気をいただいた方も大勢いらしたことだと思います。



* * 感想（保護者・児童）を紹介します。 * *

<保護者>

- 「こんな自分でも悪くない」と思える日々が送れるよう、親として伴走したいと思いました。
- 自分にできることを探し続け、諦めずに挑戦し続けている大江さんの姿に大変勇気をいただいた。
- 困難から立ち上がられた強靭な心に感服いたしました。
- 何があろうと自分と向き合い、前向きに進む姿勢や人生を楽しんでいる姿に感動しました。
- 自身の人生に対する不満を口にせず、人生を肯定しながら生きている姿が印象に残りました。

<児童>

- 「障がい者だから助ける」「障がい者ではないから助けなくていい」ではなく、「困っている人」を助けていくことが大事だと分かりました。
- 強い気持ちがあれば、きっと自分に合ったもの・ことが見つかるということを聞いて、「あきらめない気持ち」が大切なことを改めて知った。
- 辛いことがあってもあきらめず乗り越えている大江さんはかっこいいと思った。
- 講演会の前には、自分の夢を果たすことは「できなさそうだな」と思っていたけど、大江さんのお話を聞いて「夢に向かってがんばろう」という前向きな気持ちになりました。